

平成22年国勢調査

－人口等基本集計結果の概要－

平成23年12月

千葉県総合企画部統計課

目 次

第Ⅰ部 千葉県のすがた

1 人口

- (1) 人口総数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- (2) 市町村別人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- (3) 外国人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- (4) 人口密度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

2 世帯

- (1) 世帯数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (2) 家族類型別世帯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- (3) 高齢世帯員のいる世帯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

3 年齢及び配偶関係

- (1) 千葉県全体の年齢構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- (2) 市町村別の年齢構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- (3) 平均年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
- (4) 配偶関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

4 住居・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

第Ⅱ部 世界の中の千葉県

5 諸外国との比較

- (1) 人口総数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
- (2) 人口密度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
- (3) 人口増加率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
- (4) 高齢化率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
- (5) 合計特殊出生率（参考）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

利用の案内

この報告書は総務省統計局が平成23年10月26日に公表した「平成22年国勢調査 人口等基本集計結果」について、千葉県の結果を中心に分析したものです。

① 平成22年国勢調査の概要

調査の時期

平成22年国勢調査は、平成22年10月1日午前零時現在を調査時点として行われました。国勢調査は大正9年以来、ほぼ5年ごとに行われています。平成22年国勢調査は19回目の国勢調査でした。

調査の対象

平成22年国勢調査は、日本国内に住んでいる全ての人と世帯を対象に行われました。外国人も調査対象となっています。ただし、以下の者は調査対象から除外されています。

(ア) 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む。）及びその家族

(イ) 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

調査の方法

総務大臣が任命した国勢調査員が、世帯ごとに調査票を配布しました。各世帯は調査票に記入した後、調査員への提出または郵送による市区町村への提出のいずれかの方法で、調査票を提出しました。

調査事項

世帯員に関する事項を15項目、世帯に関する事項を5項目、計20項目を調査しました。

世帯員に関する事項		世帯に関する事項
(1) 氏名	(9) 教育	(1) 世帯の種類
(2) 男女の別	(10) 就業状態	(2) 世帯員の数
(3) 出生の年月	(11) 所属の事業所の名称及び事業の種類	(3) 住居の種類
(4) 世帯主との続柄	(12) 仕事の種類	(4) 住宅の床面積
(5) 配偶の関係	(13) 従業上の地位	(5) 住宅の建て方
(6) 国籍	(14) 従業地又は通学地	
(7) 現住居での居住期間	(15) 利用交通手段	
(8) 5年前の住居の所在地		

② 用語の解説

人口

国勢調査の人口は「常住人口」です。常住人口は、調査時に調査の地域に常住している者をいいます。常住している者とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、または住むことになっている者をいいます。3か月以上にわたって住んでいるか、または住むことになっている住居のない者は調査時現在いた場所に常住している者とみなしています。

世帯の種類

国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分しています。「一般世帯」とは「施設等の世帯」以外の世帯をいいます。

「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいいます。

核家族世帯

下記のいずれかの条件を満たす世帯のことです。

- (1) 夫婦のみの世帯
- (2) 夫婦と子供から成る世帯
- (3) ひとり親と子供から成る世帯

年齢

年齢は平成22年9月30日現在の満年齢です。平成22年10月1日午前零時に生まれた人は、0歳としています。

外国人

日本国籍を持つ者以外の者をさします。（無国籍および国名不詳の者を含んでいます。）

配偶関係

「配偶関係」は、届出の有無にかかわらず、実際の状態により、次のとおり区分しています。

未婚・・・まだ結婚したことのない人

有配偶・・・届出の有無に関係なく、妻又は夫のある人

死別・・・妻又は夫と死別して独身の人

離別・・・妻又は夫と離別して独身の人

人口密度

1平方キロメートルあたりの人口の数を表します。

高齢化率

老年人口（65歳以上人口）が総人口に占める割合のことです。

合計特殊出生率

一人の女性が生涯に産む子供の数の推計値です。

※上記以外の用語については、『平成22年国勢調査 調査結果の利用案内—ユーザーズガイド』をご覧ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/users-g.htm>

③ 記載内容について

- ・本文および図表中の数値は、単位未満で四捨五入しています。そのため、構成比の合計などが100%にならない場合があります。
- ・割合については、分母から不詳を除いて算出しています。過去の割合についても同様の方法で再計算しています。
- ・合計特殊出生率は、厚生労働省「人口動態統計」の調査項目であり、国勢調査の調査項目ではありませんが、千葉県人口推移と関連性の高い指標なので参考として記載しました。

④ 統計資料の出典

- ・この報告書に使用した統計資料は下記のURLから入手可能です。

平成22年国勢調査結果（総務省）

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm> の「統計表一覧」を選択し、「全国結果」および「都道府県結果 12 千葉県」を参照。

平成22年人口動態統計（厚生労働省）

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001028897> の「平成22年人口動態統計」確定数を参照。

諸外国における合計特殊出生率（内閣府）

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/whitepaper/index-w.html> より
「平成23年版 子ども・子育て白書」第1部第2章掲載のデータを参照。

世界の人口推計（国際連合）

<http://www.un.org/esa/population/unpop.htm> より
“World Population Prospects: The 2010Revision”を参照。

⑤ 今後の公表予定

国勢調査の基本集計として、下記の集計結果が総務省統計局より公表される予定となっています。

* 産業等基本集計（平成24年4月下旬）

人口の労働力状態別構成及び就業者の産業別構成等に関する結果

* 職業等基本集計（平成24年11月）

就業者の職業別構成及び母子世帯・父子世帯数等に関する結果



調査結果の概要

平成22年10月1日現在で実施された「平成22年国勢調査」の人口等基本集計結果（人口、世帯、住居、外国人及び高齢者世帯等に関する事項）の概要をまとめました。今回は千葉県の集計結果に加えて、第Ⅱ部にて諸外国との比較を行っております。

第Ⅰ部：千葉県のすがた

1 人口

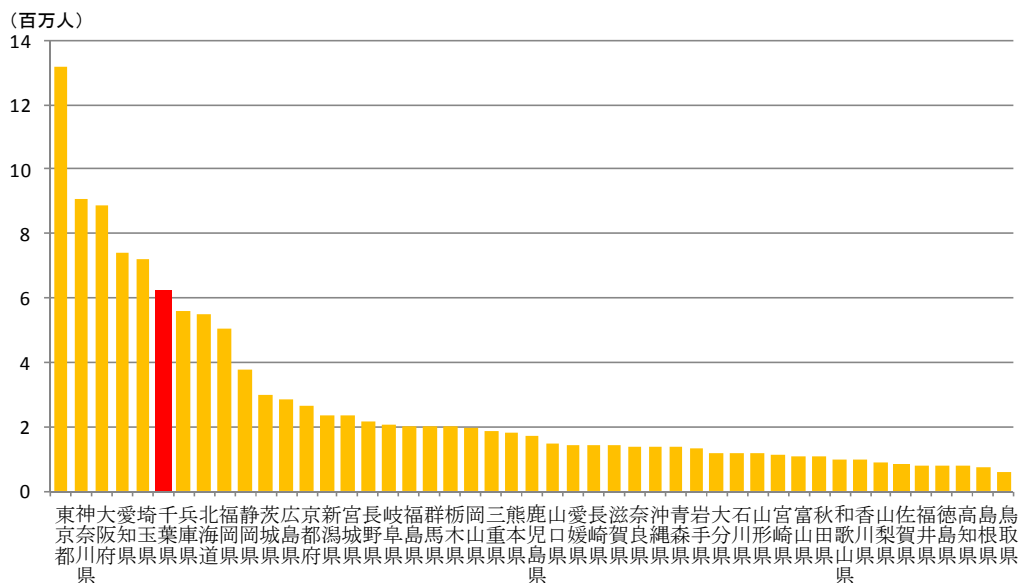
(1) 人口総数

千葉県の人口は6,216,289人－5年前より2.6%増加－

平成22年10月1日現在の千葉県の人口は、6,216,289人で全国人口の4.9%を占め、全国で6番目に多かった。（図Ⅰ－1）

平成17年調査に比べて159,827人、2.6%（前回2.2%）増加した。全国の増加率は0.2%であり、千葉県は東京都、神奈川県に次ぐ3番目の人口増加率であった。（図Ⅰ－2）（図Ⅰ－3）

図Ⅰ－1 都道府県別人口（平成22年）



男女別人口は、男性3,098,139人、女性3,118,150人となった。人口性比(女性100人に対する男性の数)は平成17年当時の100.1から99.4と0.7ポイント減少した。

図 I - 2 千葉県人口の推移 (大正9年~平成22年)

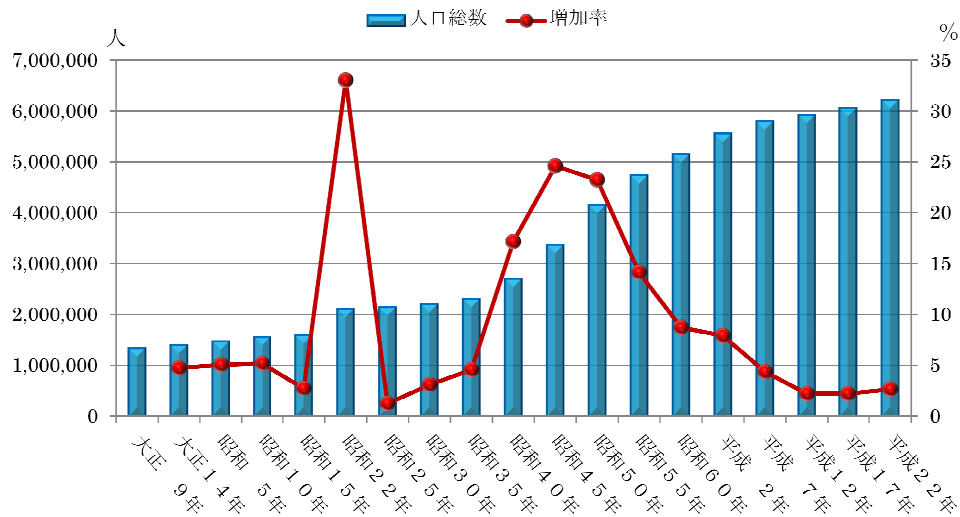
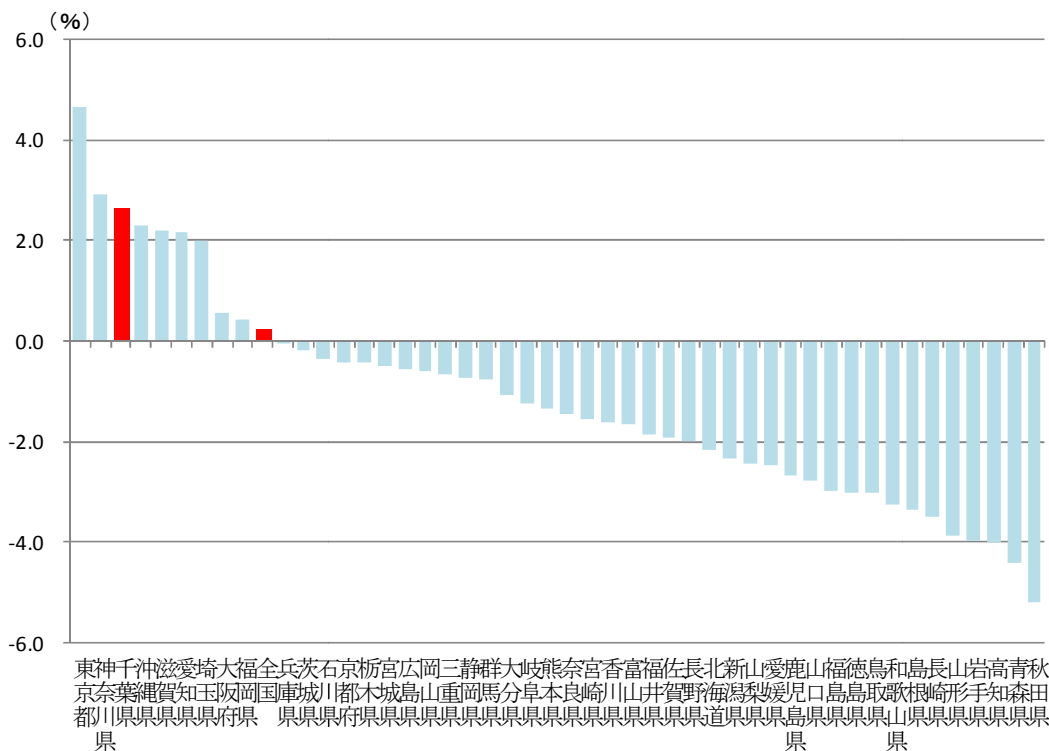


図 I - 3 都道府県別の人口増減率 (平成17年~平成22年)



(2) 市町村別人口

人口増加率が最も高い市町村は白井市

千葉県の市町村別に人口をみると、千葉市が961,749人で最も多く県人口の15.5%を占めた。次いで、船橋市が609,040人、松戸市が484,457人、市川市が473,919人、柏市が404,012人の順となった。

人口増加数では船橋市が39,205人で最も多く、次いで千葉市、柏市、松戸市、流山市の順となった。(表I-1-1)

人口増加率では白井市が13.8%で最も高く、次いで、印西市、流山市、船橋市、成田市の順となった。(表I-1-2)

人口減少数では銚子市が4,810人で最も多く、次いで香取市、山武市、南房総市、八街市の順となった。(表I-1-3)

人口減少率では鋸南町が8.5%で最も高く、次いで長南町、栄町、大多喜町、銚子市の順となった。(表I-1-4)

表I-1-1 千葉県の人口増加数上位5市町村の推移 単位：人

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
1 千葉市	27,423	30,286	37,155	39,205
2 市原市	19,345	14,339	22,306	37,430
3 佐倉市	17,936	10,101	19,761	23,049
4 印西市	15,949	9,330	17,966	11,878
5 八街市	15,182	9,257	11,881	11,343

表I-1-2 千葉県の人口増加率上位5市町村の推移 単位：%

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
1 印西市	38.2	85.2	16.8	13.8
2 山武町	38.2	11.3	14.0	8.7
3 八街市	30.3	11.0	7.5	7.4
4 白井町	28.0	9.6	7.0	6.9
5 大網白里町	25.2	9.3	5.3	6.4

表 I - 1 - 3 千葉県的人口減少数上位5市町村の推移 単位：人

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
1 銚子市	2,958	3,483	3,677	4,810
2 館山市	1,695	1,617	2,677	4,466
3 勝浦市	1,006	1,468	2,363	2,935
4 千倉町	727	1,434	1,257	2,659
5 鋸南町	625	1,180	1,178	2,523

表 I - 1 - 4 千葉県的人口減少率上位5市町村の推移 単位：%

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
1 富浦町	6.5	6.3	7.6	8.5
2 天津小湊町	5.4	6.3	7.3	7.6
3 鋸南町	5.3	6.1	7.1	7.4
4 富山町	5.2	5.7	6.2	7.3
5 白浜町	5.1	5.2	5.9	6.4

(3) 外国人

県内在住外国人は78,927人 -5年前より7.9%増加-

千葉県に在住する外国人は、78,927人であった。平成17年調査に比べて5,811人、7.9%増加した。県人口の1.3%を占めた。

(表 I-2)

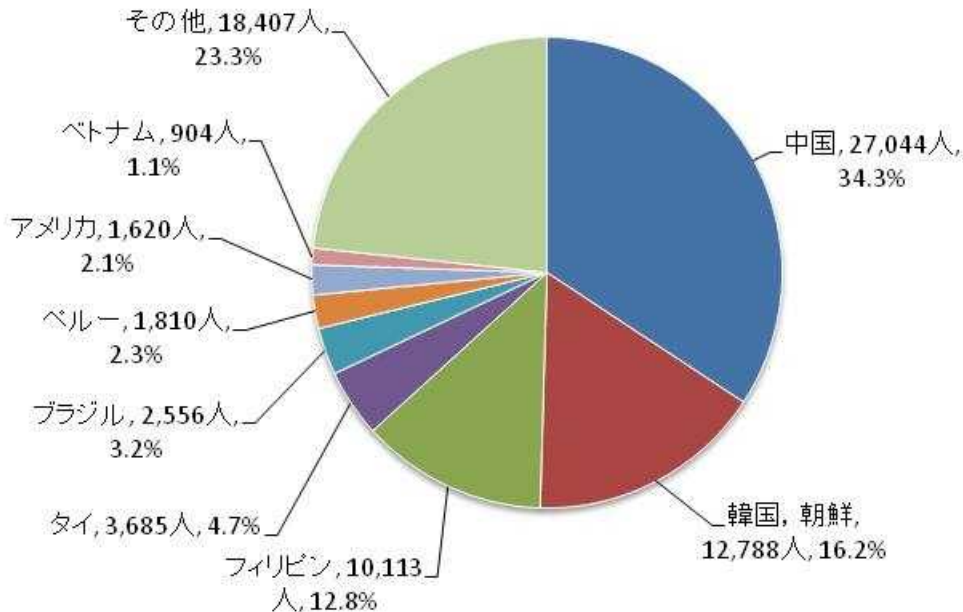
県内在住外国人を国籍別に見ると、中国人が27,044人で最も多く外国人在住者の34.3%を占めた。次いで韓国・朝鮮人が12,788人、フィリピン人が10,113人、タイ人が3,685人の順となった。

(図 I-4)

表 I-2 県内在住外国人人数および県人口比率の推移

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
県内在住外国人(人)	48,236	57,585	73,116	78,927
県人口比率(%)	0.8	1.0	1.2	1.3

図 I-4 国籍別外国人人口(平成22年)



(注) その他には、無国籍および国名不詳を含む。

平成7年から平成22年までの千葉県在住外国人の国籍別割合の推移をみると、国籍が「中国」の者の割合が急速に高まっている。（図I-5）

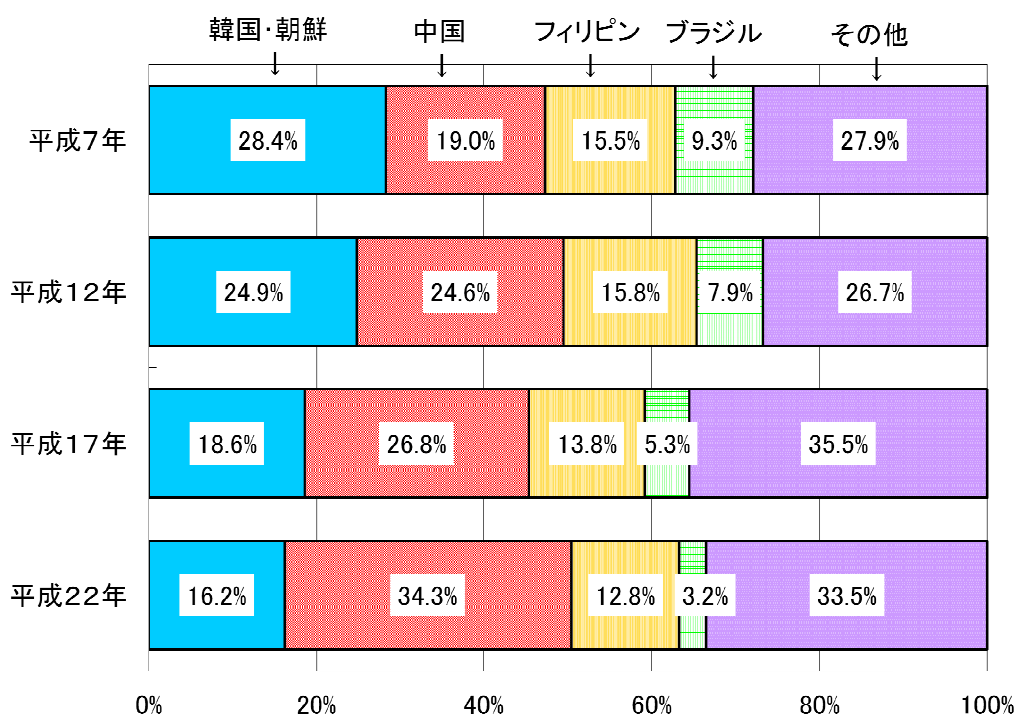
平成7年当時は、国籍が「韓国, 朝鮮」の者の割合が最も高く、外国人人口の28.4%を占めており、国籍が「中国」の者の割合は19.0%だった。しかし、平成12年には国籍が「韓国, 朝鮮」の者が24.9%、国籍が「中国」の者が24.6%とほぼ同じになった。さらに、平成17年には国籍が「中国」の者の割合が「韓国, 朝鮮」の者の割合を上回った。

今回の平成22年調査では、国籍が「中国」の者の割合が34.3%、国籍が「韓国, 朝鮮」の者の割合が16.2%となり、両者の差は18.1ポイントに拡大している。

平成7年当時、千葉県在住外国人人口の15.5%を占めていた国籍が「フィリピン」の者の割合は、平成22年調査では12.8%に低下した。

また、平成7年当時、千葉県在住外国人人口の9.3%を占めていた国籍が「ブラジル」の者の割合は、平成22年調査では3.2%に低下した。

図I-5 千葉県在住外国人の国籍別割合の推移



(注) その他には、無国籍および国名不詳を含む。

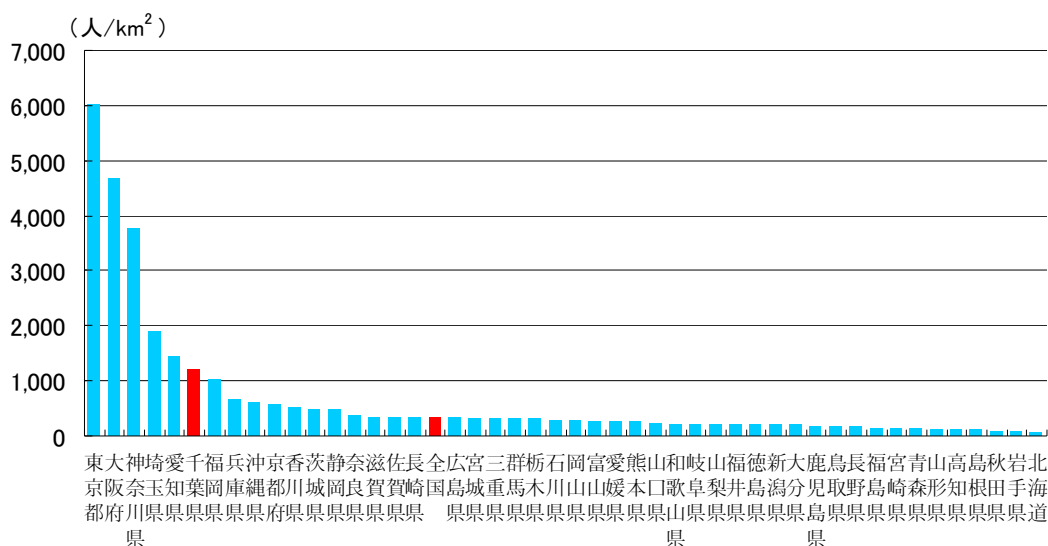
(4) 人口密度

人口密度の最も高い市町村は浦安市

千葉県の人口密度は、1205.5人/km²であった。平成17年調査に比べて31.0人/km²増加した。全国は343.4人/km²で、千葉県は全国で6番目に高かった。(図I-6)

人口密度の最も高い市町村は、浦安市(9530.5人/km²)だった。次いで市川市(8243.5人/km²)、松戸市(7899.2人/km²)となった。また、人口密度の最も低い市町村は、大多喜町(82.2人/km²)だった。次いで長南町(138.8人/km²)、長柄町(170.2人/km²)となった。(表I-3-1, 表I-3-2)

図I-6 都道府県別の人口密度(平成22年)



表I-3-1 人口密度の高い上位5市町村の推移 単位：人/km²

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
1	市川市 7,671.2	市川市 7,810.6	浦安市 8,976.3	浦安市 9,530.5
2	松戸市 7,521.2	浦安市 7,686.9	市川市 8,123.4	市川市 8,243.5
3	習志野市 7,283.8	松戸市 7,579.3	松戸市 7,705.5	松戸市 7,899.2
4	浦安市 7,147.6	習志野市 7,338.5	習志野市 7,564.8	習志野市 7,838.5
5	船橋市 6,312.8	船橋市 6,419.3	船橋市 6,650.0	船橋市 7,111.6

表I-3-2 人口密度の低い上位5市町村の推移 単位：人/km²

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
1	大多喜町 97.7	大多喜町 93.4	大多喜町 88.7	大多喜町 82.2
2	丸山町 133.0	丸山町 131.0	丸山町 123.3	長南町 138.8
3	三芳村 140.1	三芳村 139.9	三芳村 137.3	長柄町 170.2
4	富山町 160.6	富山町 150.5	富山町 142.6	芝山町 182.2
5	長南町 173.4	長南町 162.6	長南町 150.3	南房総市 182.9

2 世帯

(1) 世帯数

世帯数は2,515,904世帯 -5年前より8.2%増加-

千葉県の世界帯数は、2,515,904世帯であった。平成17年調査に比べて、190,672世帯、8.2%増加した。

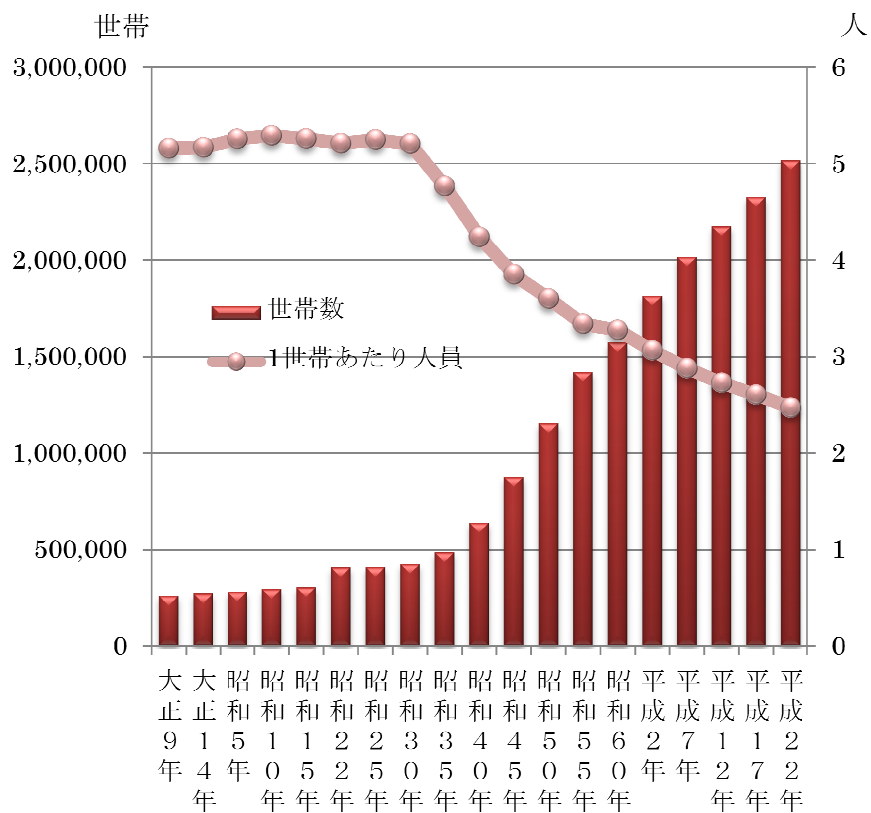
1世帯当たり人員は減少傾向が続いている。平成22年も平成17年調査に比べて0.14人減少し、1世帯当たり人員は2.47人(前回2.61人)となった。(図Ⅱ-1)

一般世帯(注)は2,512,441世帯であった。平成17年調査に比べて208,120世帯、9.0%増加した。

一般世帯の1世帯当たり人員は、平成17年調査に比べて、0.14人減少しており2.44人(前回2.58人)となった。

(注) 一般世帯とは、全世帯から学生寮・病院・社会施設などの施設等の世帯を除いたもの

図Ⅱ-1 世帯数および1世帯あたり人員の推移(大正9年~平成22年)



(2) 家族類型別世帯

核家族世帯は一般世帯の59.9% - 5年前より4.7%増加-

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯は1,495,540世帯(一般世帯の59.9%)で、平成17年調査に比べて4.7%増加した。

「夫婦のみの世帯」は、517,202世帯(同20.7%)で平成17年調査に比べて12.5%増加した。

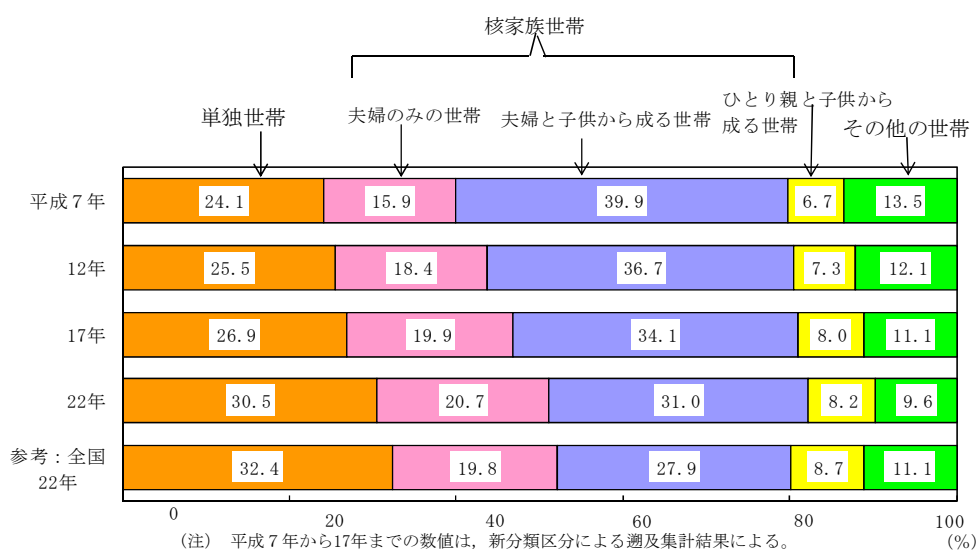
「夫婦と子供から成る世帯」は773,305世帯(同31.0%)で平成17年調査に比べて1.5%減少した。

一人暮らし世帯(単独世帯)は761,231世帯(同30.5%)で平成17年調査に比べて22.6%増加した。(表Ⅱ-1)(図Ⅱ-2)

表Ⅱ-1 一般世帯の家族類型別世帯数の推移

世帯の家族類型	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成22年(全国)
総数	2,008,600	2,164,117	2,304,321	2,512,441	51,842,307
単独世帯	483,791	550,847	620,794	761,231	16,784,507
核家族世帯	1,253,876	1,350,750	1,427,902	1,495,540	29,206,899
夫婦のみの世帯	318,746	397,416	459,602	517,202	10,244,230
夫婦と子供から成る世帯	800,579	794,754	784,895	773,305	14,439,724
ひとり親と子供から成る世帯	134,551	158,580	183,405	205,033	4,522,945
その他の世帯	270,933	262,520	255,625	240,490	5,765,103

図Ⅱ-2 一般世帯の家族類型別割合の推移



(3) 高齢世帯員のいる世帯

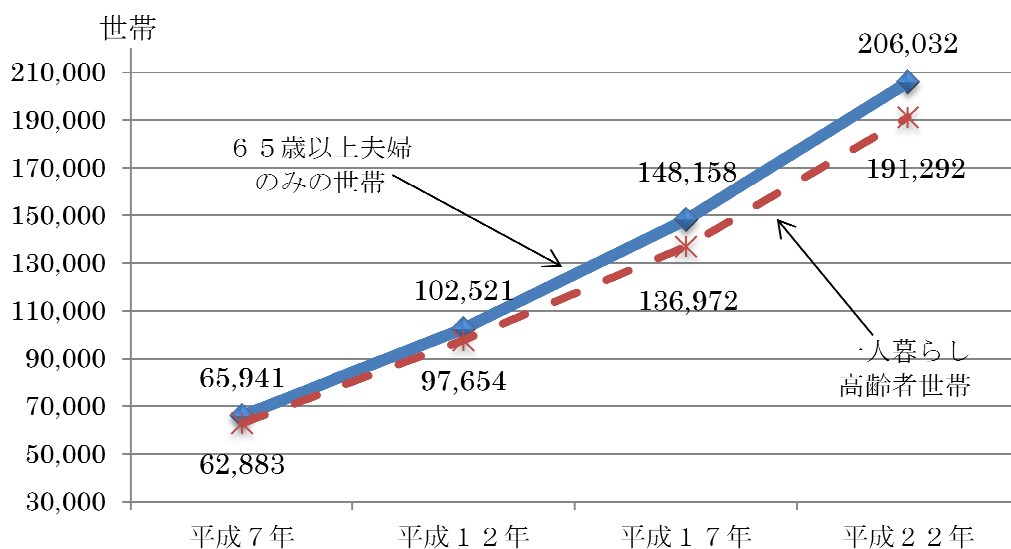
一人暮らし高齢者は191,292世帯－5年前より39.7%増加－

65歳以上の世帯員のいる世帯は875,648世帯であった。一般世帯に占める65歳以上の世帯員のいる世帯の割合を全国と比較すると、全国は37.3%、千葉県は34.9%となり、6番目に低かった。

このうち一人暮らし高齢者(65歳以上の単独世帯)は191,292世帯で平成17年調査に比べて54,320世帯、39.7%増加した。

また、65歳以上夫婦のみの世帯は、206,032世帯で、平成17年調査に比べて57,874世帯、39.1%増加した。(図Ⅱ-3)

図Ⅱ-3 高齢者世帯の推移(平成7年～平成22年)



3 年齢及び配偶関係

(1) 千葉県全体の年齢構成

老年人口は1,320,120人 -5年前より24.5%増加-

千葉県の年齢構成を年齢3区分別人口で見ると年少人口(15歳未満人口)は、799,646人で平成17年調査に比べて19,702人、2.4%低下した。年少人口が総人口に占める割合を全国比較すると全国は13.2%、千葉県は13.0%となり、千葉県は16番目の低さだった。(表Ⅲ-1)

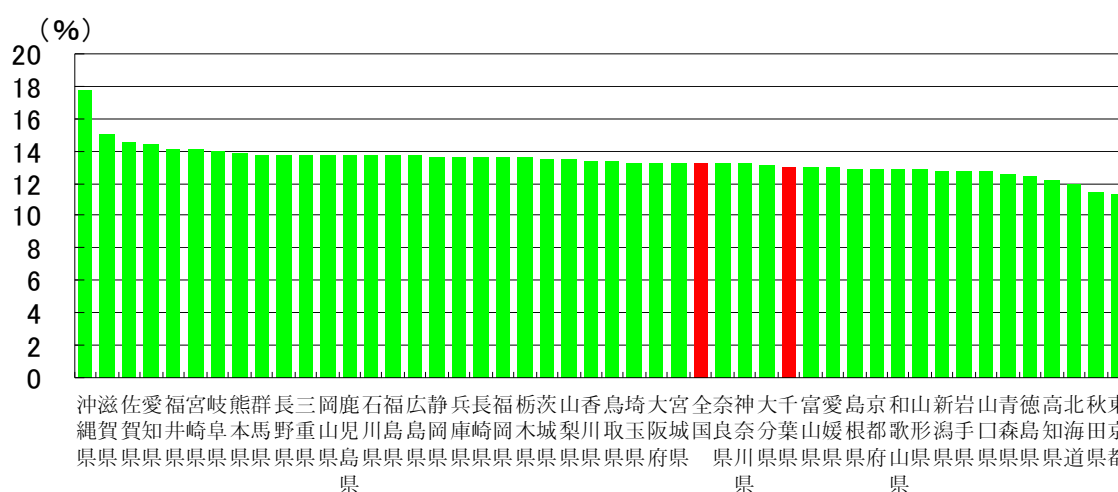
(図Ⅲ-1-1)

表Ⅲ-1 年齢3区分別人口の推移 単位：人 ()内構成比

区分	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
平成7年	915,719 (15.8%)	4,224,738 (72.9%)	651,789 (11.3%)
平成12年	842,534 (14.2%)	4,235,925 (71.6%)	837,017 (14.1%)
平成17年	819,348 (13.6%)	4,154,600 (68.8%)	1,060,343 (17.6%)
平成22年	799,646 (13.0%)	4,009,060 (65.4%)	1,320,120 (21.5%)

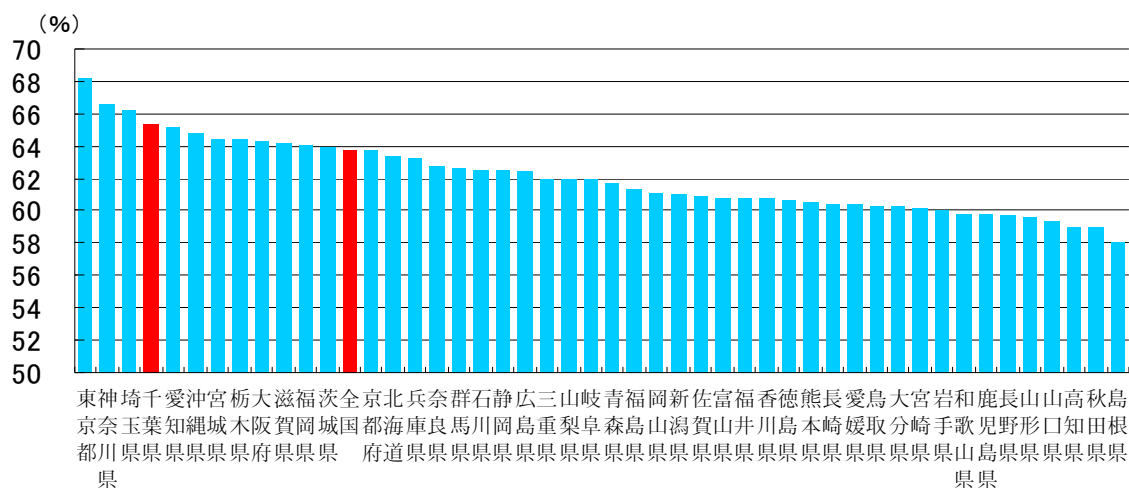
(注) 総人口に占める割合は、総人口から年齢不詳を引いた数値を分母にして算出している。

図Ⅲ-1-1 都道府県別の年少人口割合(平成22年)



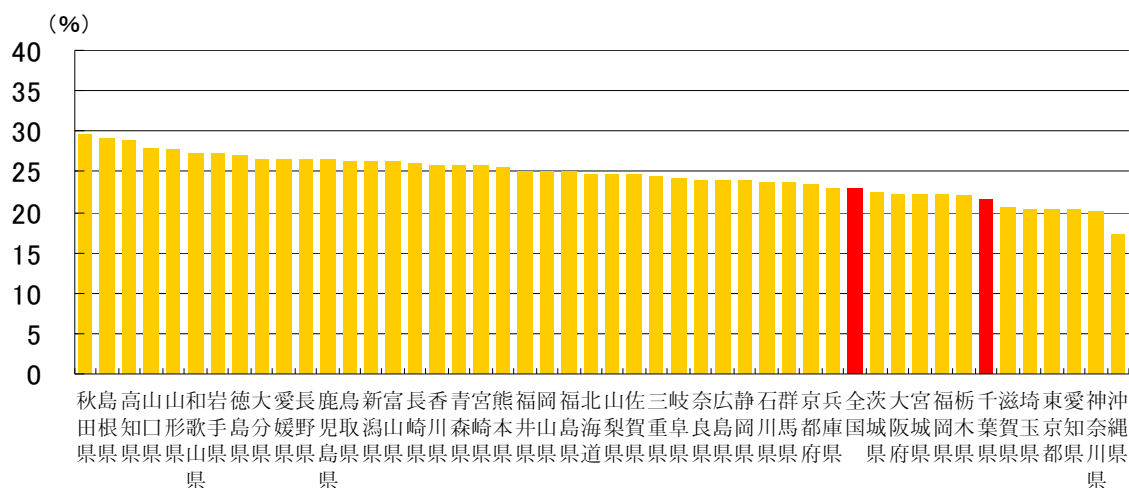
千葉県生産年齢人口(15～64歳人口)は、4,009,060人で、平成17年調査に比べて145,540人、3.5%低下した。生産年齢人口の総人口に占める割合を全国と比較すると、全国は63.8%、千葉県は65.4%となり4番目の高さだった。(表Ⅲ-1) (図Ⅲ-1-2)

図Ⅲ-1-2 都道府県別の生産年齢人口割合(平成22年)



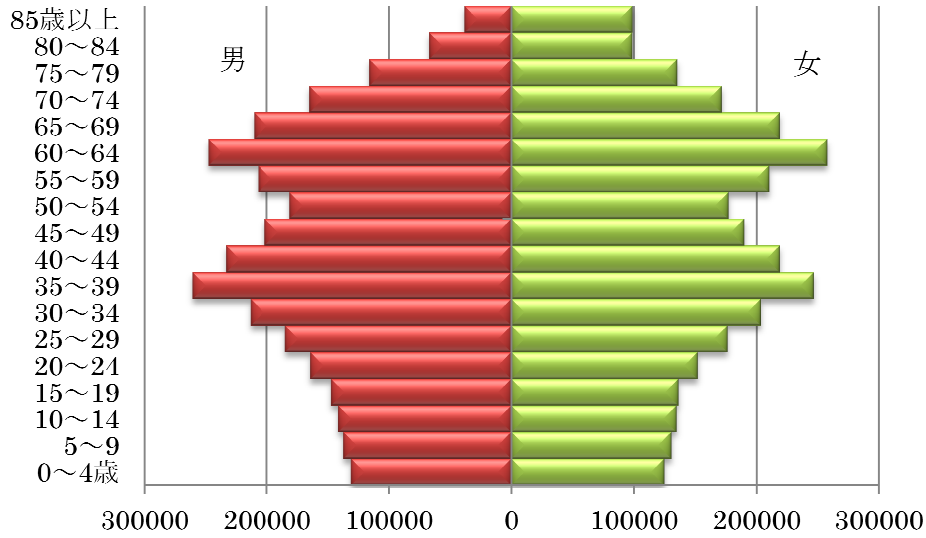
老年人口(65歳以上人口)は、1,320,120人で、平成17年調査に比べて259,777人、24.5%増加した。老年人口の総人口に占める割合(高齢化率)を全国と比較すると、全国の23.0%に対して千葉県は21.5%となり7番目の低さだった。(表Ⅲ-1) (図Ⅲ-1-3)

図Ⅲ-1-3 都道府県別の高齢化率(平成22年)

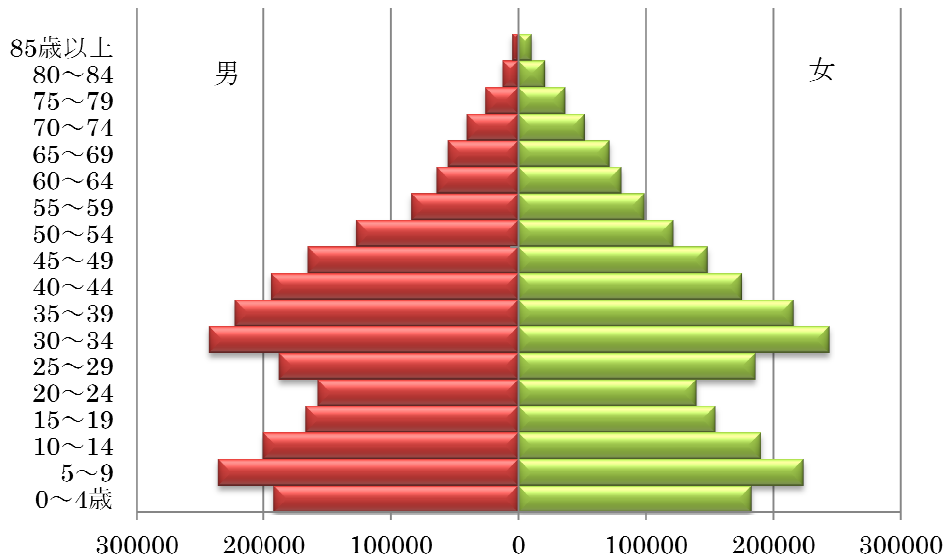


平成22年人口ピラミッドは昭和55年の「つぼ型」に近い形から、60～64歳、35～39歳を中心とした二つの膨らみをもつ「ひょうたん型」に近い形となった。（図Ⅲ-2）

図Ⅲ-2 千葉県の5歳階級年齢別人口
平成22年（2010年）



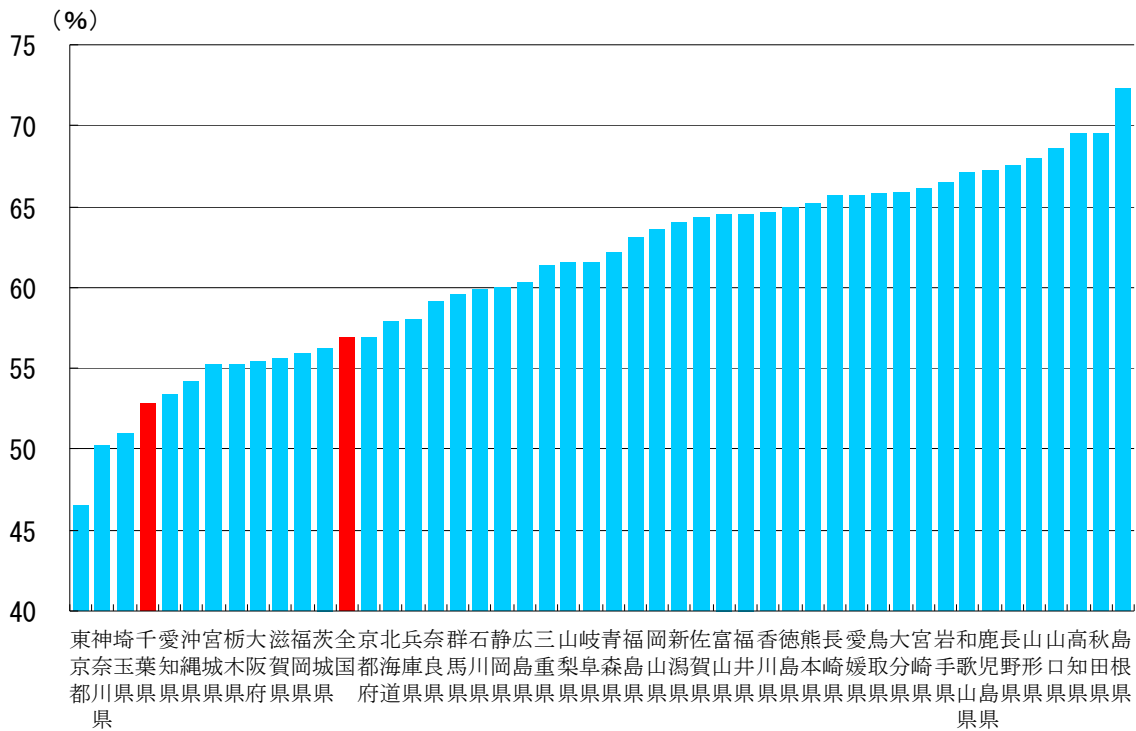
昭和55年（1980年、30年前）



生産年齢人口の社会的負担の大きさをみるために、従属人口指数（注1）を算出すると、千葉県の従属人口指数は、52.9%となった。

生産年齢人口1.9人で従属人口（年少人口+老年人口）1人を支える構図となっている。他の都道府県と比較すると全国で4番目に低い値となった。（図Ⅲ-3）

図Ⅲ-3 都道府県別の従属人口指数（平成22年）



注1) 従属人口指数 = (年少人口+老年人口) ÷ 生産年齢人口 × 100.

経済における主要な働き手である生産年齢人口（15～64歳人口）100人に対して、従属人口（年少人口+老年人口）が何人いるかを示す。

千葉県は従属人口指数は全国的には低いグループに入っているが、昭和55年（1980年）からの従属人口指数の推移をみると、平成7年を境に上昇が続いている。年少人口指数（注2）が低下する一方で、高齢化を反映して、老年人口指数（注3）が上昇する傾向となっている。平成22年（2010年）には平成17年（2005年）に比べて、従属人口指数は7.7ポイント上昇し、過去30年間で最大の値となった。（図Ⅲ-4）

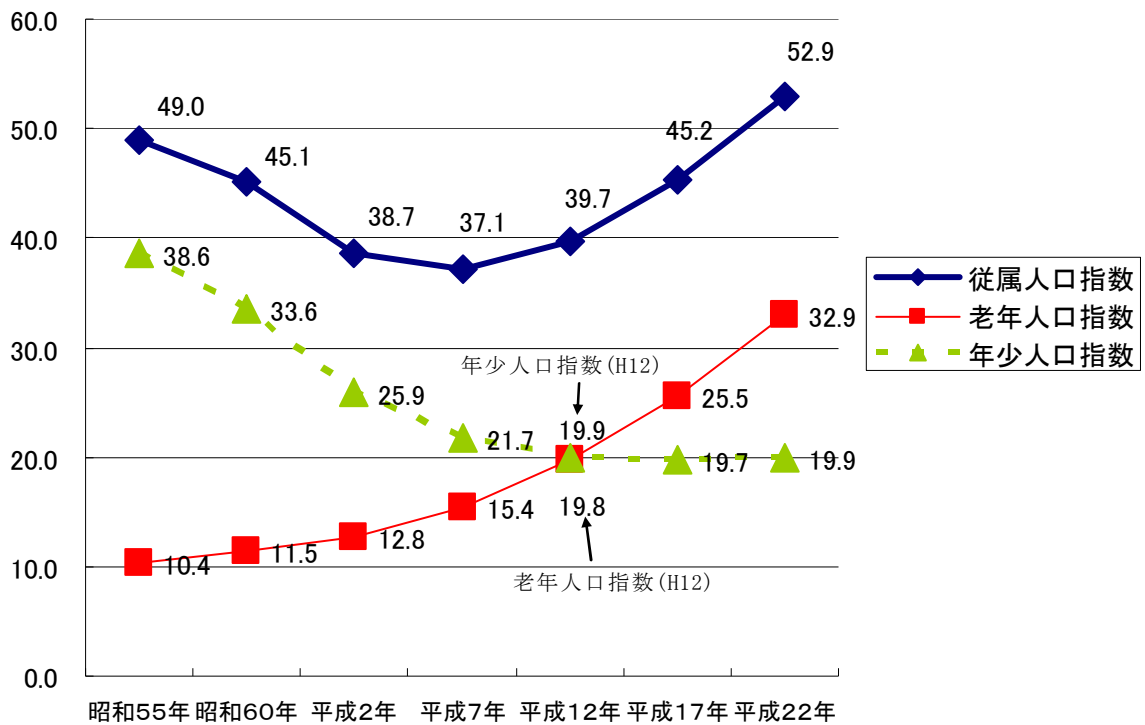
注2) 年少人口指数 = 年少人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

経済における主要な働き手である生産年齢人口（15～64歳人口）100人に対して、年少人口が何人いるかを示す。

注3) 老年人口指数 = 老年人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

経済における主要な働き手である生産年齢人口（15～64歳人口）100人に対して、老年人口が何人いるかを示す。

図Ⅲ-4 千葉県の年齢構成指数の推移（昭和55年～平成22年）



(2) 市町村別の年齢構成

老年人口の割合が最も高いのは、御宿町の40.6%

市町村別の年齢構成を年齢3区分別人口で見ると、年少人口（15歳未満人口）の総人口に占める割合が最も高い市町村は浦安市（16.4%）であった。次いで、白井市、八千代市、印西市、成田市の順となった。

（表Ⅲ-2-1）

生産年齢人口（15～64歳人口）の総人口に占める割合が最も高い市町村は浦安市（71.9%）であった。次いで、印西市、富里市、市川市、栄町の順となった。（表Ⅲ-2-2）

老年人口（65歳以上人口）の総人口に占める割合（高齢化率）が最も高い市町村は御宿町（40.6%）であった。次いで、南房総市、鋸南町、大多喜町、いすみ市の順となった。（表Ⅲ-2-3）

表Ⅲ-2-1 年少人口割合が高い市町村

平成22年			平成17年		
順位	市町村	年少人口 比率(%)	順位	市町村	年少人口 比率(%)
1	浦安市	16.4	1	浦安市	15.8
2	白井市	15.9	2	八街市	15.6
3	八千代市	15.3	3	印西市	15.5
4	印西市	14.5	4	八千代市	15.4
5	成田市	14.2	5	白井市	15.1
6	袖ヶ浦市	14.0	6	袖ヶ浦市	14.6
7	習志野市	13.8	7	成田市	14.1
8	四街道市	13.6	8	大網白里町	14.1
9	船橋市	13.6	9	習志野市	14.0
10	柏市	13.6	10	東金市	14.0

表Ⅲ－２－２ 生産年齢人口割合が高い市町村

平成22年			平成17年		
順位	市町村	生産年齢人口比率(%)	順位	市町村	生産年齢人口比率(%)
1	浦安市	71.9	1	浦安市	75.0
2	印西市	69.3	2	富里市	72.7
3	富里市	69.3	3	市川市	72.5
4	市川市	68.8	4	酒々井町	71.8
5	栄町	68.2	5	栄町	71.3
6	成田市	68.1	6	白井市	71.0
7	八街市	67.3	7	印西市	70.4
8	習志野市	67.1	8	習志野市	70.3
9	東金市	66.8	9	成田市	70.1
10	船橋市	66.8	10	柏市	70.1

表Ⅲ－２－３ 高齢化率が高い市町村

平成22年			平成17年		
順位	市町村	老年人口比率(%)	順位	市町村	老年人口比率(%)
1	御宿町	40.6	1	御宿町	35.5
2	南房総市	37.5	2	南房総市	33.7
3	鋸南町	37.2	3	鋸南町	33.5
4	大多喜町	33.8	4	大多喜町	31.2
5	いすみ市	33.2	5	長南町	30.3
6	勝浦市	32.6	6	鴨川市	30.3
7	長南町	32.6	7	いすみ市	29.3
8	鴨川市	32.4	8	勝浦市	28.9
9	睦沢町	31.8	9	館山市	28.0
10	館山市	31.4	10	多古町	27.4

(3) 平均年齢

平均年齢は44.3歳 - 5年前より1.9歳高い -

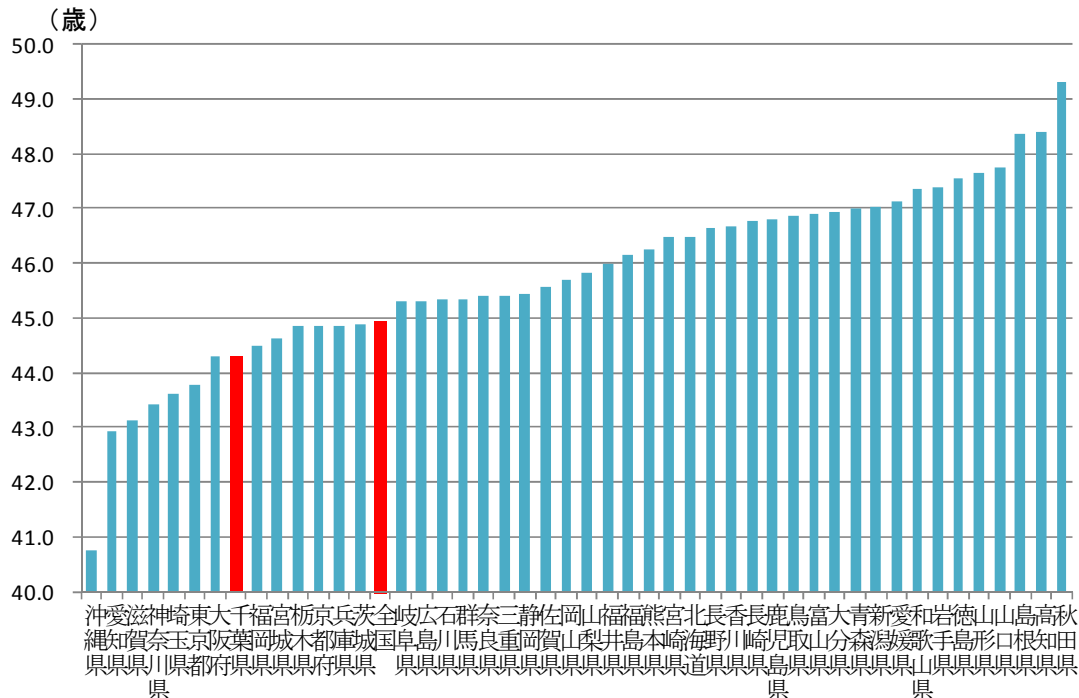
千葉県の人口の平均年齢は、44.3歳となった。平成17年調査に比べて1.9歳高くなった。全国と比較すると、全国は45.0歳で、千葉県は8番目に低かった。(表Ⅲ-3) (図Ⅲ-5)

男性の平均年齢は、43.2歳、女性の平均年齢は45.4歳となり、平成17年調査に比べてそれぞれ1.8歳、1.9歳高くなった。(表Ⅲ-3)

表Ⅲ-3 平均年齢の推移 単位：歳 (平成7年～平成22年)

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総数	38.1	40.3	42.4	44.3
男	37.2	39.3	41.4	43.2
女	39.1	41.3	43.5	45.4

図Ⅲ-5 都道府県別の平均年齢 (平成22年)



(4) 配偶関係

30～34歳で男性は2人に1人、女性は3人に1人が未婚

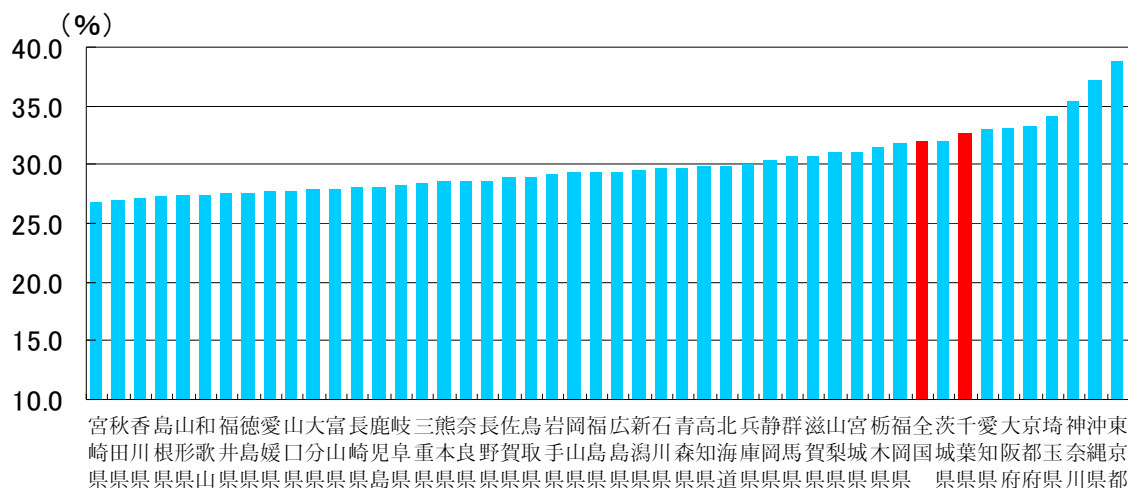
15歳以上の人口を配偶関係別にみると男性は未婚者が845,495人(15歳以上人口の32.7%)だった。有配偶者は1,578,226人(同61.1%)だった。死別者は71,148人(同2.8%)であり、離別者は87,521人(同3.4%)だった。

女性は未婚者が616,645人(同23.3%)であった。有配偶者では1,583,742人(同60.0%)だった。死別者が308,758人(同11.7%)、離別者が132,698人(同5.0%)となった。

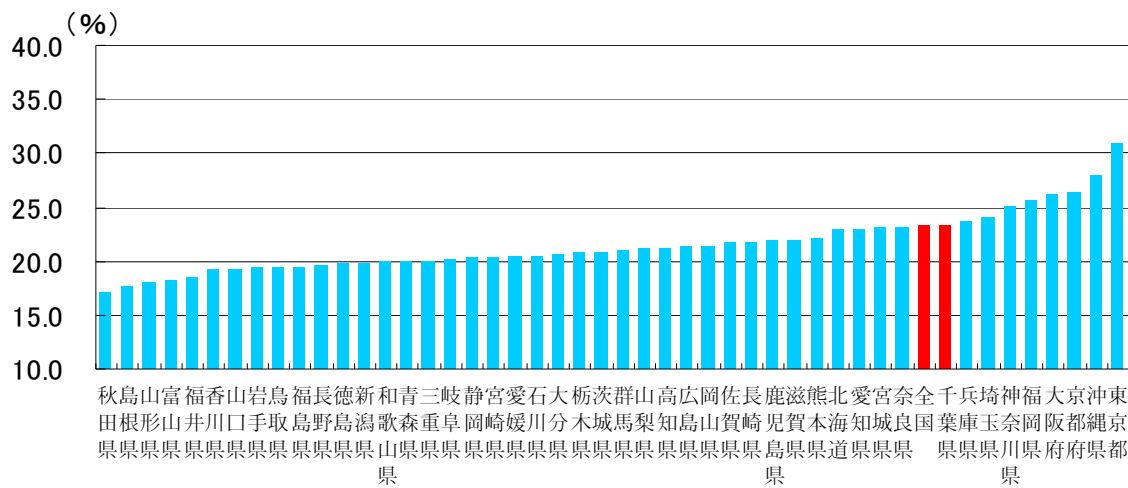
15歳以上の人口の未婚率を全国と比較すると、全国は男性が31.9%女性が23.3%で、千葉県は男性で8番目、女性は9番目に高かった。

(図Ⅲ-6-1) (図Ⅲ-6-2)

図Ⅲ-6-1 都道府県別の未婚率(男性) (平成22年)



図Ⅲ-6-2 都道府県別の未婚率(女性) (平成22年)

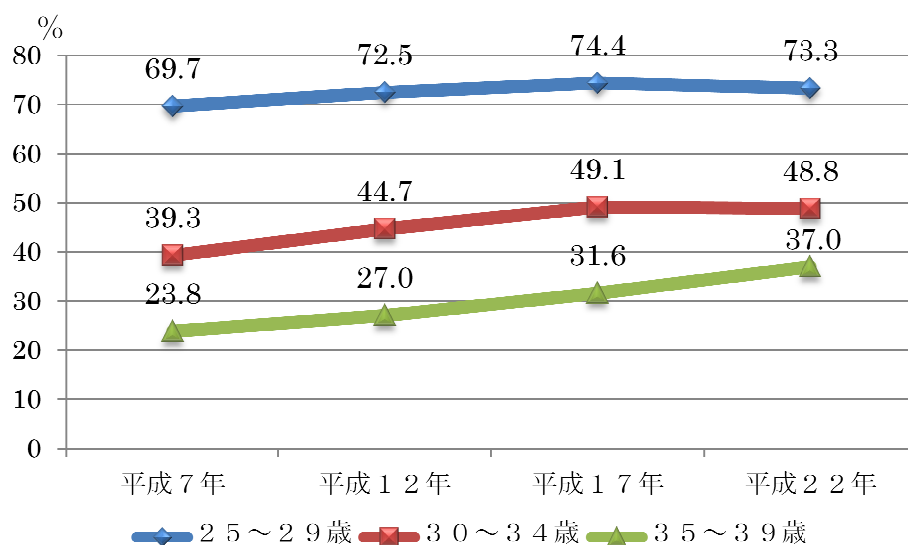


未婚率を5歳階級別にみると、25～29歳は平成17年調査と比較して男性は1.1ポイント低下し、女性は0.6ポイント上昇した。

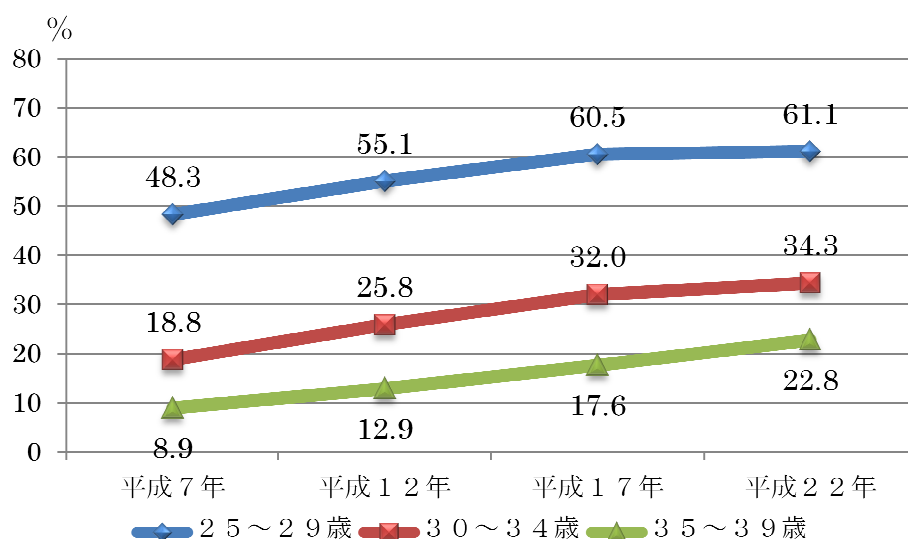
30～34歳では平成17年調査と比較して男性は0.3ポイント低下し女性は2.3ポイント上昇した。35～39歳では、平成17年調査と比較して、男性は5.4ポイント上昇し、女性は5.2ポイント上昇した。

(図Ⅲ-7-1) (図Ⅲ-7-2)

図Ⅲ-7-1 千葉県の年齢別未婚率の推移 (男性)



図Ⅲ-7-2 千葉県の年齢別未婚率の推移 (女性)



(注) 未婚率については分母から配偶関係「不詳」を除いて、算出している。

4 住居

千葉県を持ち家に住む世帯の割合は、65.3%。

住宅の所有の関係別に一般世帯（2,462,305世帯）をみると、持ち家に住む世帯は1,607,089世帯であった。平成17年調査に比べて8.9%増加した。

住宅に住む一般世帯に占める持ち家に住む世帯の割合は、65.3%であった。全国（61.9%）に比べて3.4ポイント高かったものの、全都道府県の中では33番目であり、持ち家に住む世帯の割合が最も高い富山県（78.3%）とは13.0ポイントの差があった。（図IV-1）

民営の借家に住む世帯は621,204世帯で、16.2%増加した。給与住宅に住む世帯は81,991世帯で7.4%減少した。

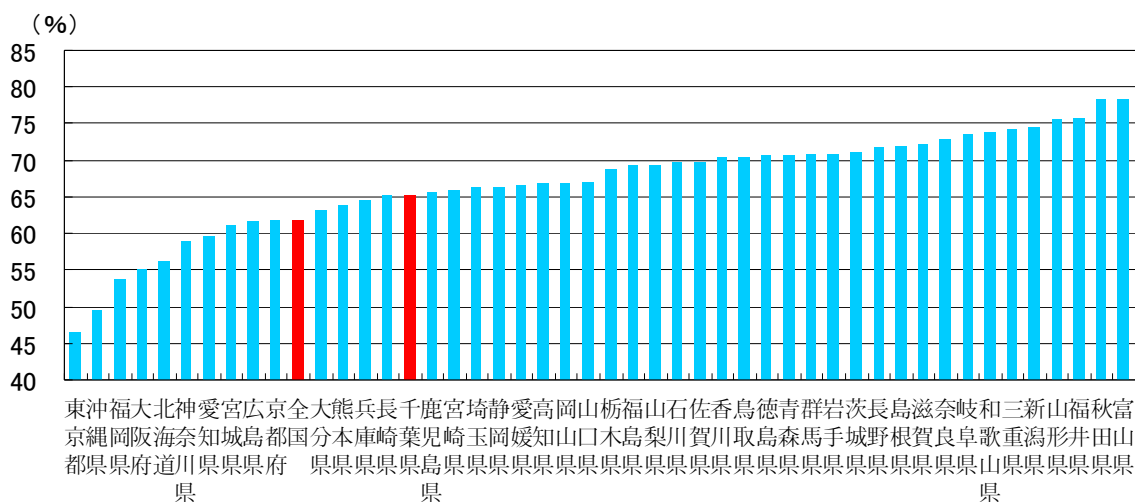
持ち家に住む世帯のうち、一戸建に住む世帯は1,256,129世帯で78.2%を占めた。

住宅の建て方別でみると、一戸建ては1,338,487世帯（住宅に住む一般世帯の54.4%）で平成17年調査に比べて5.6%増加した。

共同住宅は1,079,771世帯（同43.9%）で15.3%増加した。

（注）住宅の所有の関係別の一般世帯数は、住宅以外（寄宿舍・寮や病院・学校・旅館・会社・工場・事務所など）に居住している世帯を除く。

**図IV-1 都道府県別一般世帯に占める持ち家に住む世帯の割合
（平成22年）**



第Ⅱ部：世界の中の千葉県

5 諸外国との比較

(1) 人口総数

千葉県の人口はラオス、エルサルバドル、ヨルダンと同程度

平成22年国勢調査における千葉県の総人口は621万6千人であった。国際連合の人口推計をもとに、千葉県と同程度の人口を有する諸外国（人口500万人以上～700万人未満）を17ヶ国抽出した。

千葉県と最も総人口に近い国は東南アジアのラオス（620万1千人）である。続いて、中南米のエルサルバドル、中東のヨルダンが千葉県の総人口に近い人口を有している。（表V-1-1）

国際連合の推計によると、平成22年（2010年）の世界の総人口は、68億9千6百万人である。日本の総人口（1億2千8百万人）は、世界で10番目に多く、千葉県は102番目となっている。（表V-1-2）

表V-1-1 千葉県と同程度の人口を有する諸外国

地 域	国 名	総人口（千人）
	世 界	6,895,889
	日 本	128,057
ア ジ ア	タジキスタン	6,879
	千 葉 県	6,216
	ラ オ ス	6,201
	ヨ ル ダ ン	6,187
	キ ル ギ ス	5,334
	シンガポール トルクメニスタン	5,086 5,042
ア フ リ カ	リ ビ ア	6,355
	ト ー ゴ	6,028
	シエラレオネ	5,868
	エリトリア	5,254
オセアニア	パプアニューギニア	6,858
中 南 米	パラグアイ	6,455
	エルサルバドル	6,193
	ニカラグア	5,788
ヨ ー ロ ッ パ	デンマーク	5,550
	スロバキア	5,462
	フィンランド	5,365

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。

ただし、日本、千葉県は国勢調査の結果による。

(注) 人口500万人以上～700万人未満の国を掲載している。

表V-1-2 総人口の多い上位120ヶ国

順位	国（地域）	総人口(千人)	順位	国（地域）	総人口(千人)
1	中国	1,341,335	61	ブルキナファソ	16,469
2	インド	1,224,614	62	カザフスタン	16,026
3	アメリカ	310,384	63	ニジェール	15,512
4	インドネシア	239,871	64	マリ	15,370
5	ブラジル	194,946	65	マラウイ	14,901
6	パキスタン	173,593	66	エクアドル	14,465
7	ナイジェリア	158,423	67	グアテマラ	14,389
8	バングラデシュ	148,692	68	カンボジア	14,138
9	ロシア	142,958	69	ザンビア	13,089
10	日本	128,057	70	ジンバブエ	12,571
11	メキシコ	113,423	71	セネガル	12,434
12	フィリピン	93,261	72	ギリシャ	11,359
13	ベトナム	87,848	73	キューバ	11,258
14	エチオピア	82,950	74	チャド	11,227
15	ドイツ	82,302	75	ベルギー	10,712
16	エジプト	81,121	76	ポルトガル	10,676
17	イラン	73,974	77	ルワンダ	10,624
18	トルコ	72,752	78	チェコ	10,493
19	タイ	69,122	79	チュニジア	10,481
20	コンゴ民主共和国	65,966	80	ハイチ	9,993
21	フランス	62,787	81	ハンガリー	9,984
22	イギリス	62,036	82	ギニア	9,982
23	イタリア	60,551	83	ボリビア	9,930
24	南アフリカ	50,133	84	ドミニカ共和国	9,927
25	韓国	48,184	85	セルビア	9,856
26	ミャンマー	47,963	86	ベラルーシ	9,595
27	コロンビア	46,295	87	スウェーデン	9,380
28	スペイン	46,077	88	ソマリア	9,331
29	ウクライナ	45,448	89	アゼルバイジャン	9,188
30	タンザニア	44,841	90	ペニ	8,850
31	スーダン	43,552	91	オーストリア	8,394
32	ケニア	40,513	92	ブルンジ	8,383
33	アルゼンチン	40,412	93	スイス	7,664
34	ポーランド	38,277	94	ホンジュラス	7,601
35	アルジェリア	35,468	95	アラブ首長国連邦	7,512
36	カナダ	34,017	96	ブルガリア	7,494
37	ウガンダ	33,425	97	イスラエル	7,418
38	モロッコ	31,951	98	タジキスタン	6,879
39	イラク	31,672	99	バブアニューギニ	6,858
40	アフガニスタン	31,412	100	パラグアイ	6,455
41	ネパール	29,959	101	リビア	6,355
42	ペルー	29,077	102	千葉県	6,216
43	ベネズエラ	28,980	103	ラオス	6,201
44	マレーシア	28,401	104	エルサルバドル	6,193
45	サウジアラビア	27,448	105	ヨルダン	6,187
46	ウズベキスタン	27,445	106	トogo	6,028
47	ガナ	24,392	107	シエラレオネ	5,868
48	北朝鮮	24,346	108	ニカラグア	5,788
49	イエメン	24,053	109	デンマーク	5,550
50	モザンビーク	23,391	110	スロバキア	5,462
51	オーストラリア	22,268	111	フィンランド	5,365
52	ルーマニア	21,486	112	キルギス	5,334
53	スリランカ	20,860	113	エリトリア	5,254
54	マダガスカル	20,714	114	シンガポール	5,086
55	シリア	20,411	115	トルクメニスタン	5,042
56	コートジボワール	19,738	116	ノルウェー	4,883
57	カメルーン	19,599	117	コスタリカ	4,659
58	アンゴラ	19,082	118	アイルランド	4,470
59	チリ	17,114	119	クロアチア	4,403
60	オランダ	16,613	120	中央アフリカ	4,401

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。

ただし、日本、千葉県は国勢調査の結果による。

(2) 人口密度

千葉県は世界の23.6倍

千葉県の人口密度は、1,206人/km²であった。国際的に高い水準にあり、国際連合の推計による世界の平均人口密度51人/km²の23.6倍に達している。千葉県と同程度の人口を有する諸外国（人口500万人以上～700万人未満）17ヶ国の人口密度と比較すると、シンガポールに次いで2番目の高さとなっており、第3位以下を大きく引き離している。（表V-2-1）

表V-2-1 千葉県と同程度の人口を有する諸外国の人口密度

順位	国名	総人口(千人)	人口密度(人/km ²)
	世界	6,895,889	51
	日本	128,057	343
1	シンガポール	5,086	7,447
2	千葉県	6,216	1,206
3	エルサルバドル	6,193	294
4	デンマーク	5,550	129
5	スロバキア	5,462	111
6	トゴ	6,028	106
7	シエラレオネ	5,868	82
8	ヨルダン	6,187	69
9	タジキスタン	6,879	48
10	エリトリア	5,254	45
11	ニカラグア	5,788	45
12	キルギス	5,334	27
13	ラオス	6,201	26
14	パラグアイ	6,455	16
15	フィンランド	5,365	16
16	パプアニューギニア	6,858	15
17	トルクメニスタン	5,042	10
18	リビア	6,355	4

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。

ただし、日本、千葉県は国勢調査の結果による。

(注) 人口500万人以上～700万人未満の国を掲載している。

海外県・海外領土・特別行政区などの地域を含めた世界全体で比較すると、千葉県は世界で9番目に高く、日本は35番目となった。千葉県の人口密度は、最上位のモナコ（23,763人/km²）やマカオ（20,910人/km²）と比較すると大幅に低いものの、淡路島の半分程度の面積であるモルディブや東京ディズニーランドより小さな面積であるパチカンの人口密度を上回っている。

（表V-2-2）

表V-2-2 人口密度の高い上位40地域

順位	国(地域)	総人口 (千人)	人口密度 (人/km ²)	順位	国(地域)	総人口 (千人)	人口密度 (人/km ²)
1	モナコ	35	23,763	21	韓国	48,184	484
2	マカオ	544	20,910	22	ブエルトリコ	3,749	422
3	シンガポール	5,086	7,447	23	レバノン	4,228	407
4	香港	7,053	6,418	24	ルワンダ	10,624	403
5	ジブラルタル	29	4,874	25	オランダ	16,613	400
6	バーレーン	1,262	1,818	26	コモロ	735	395
7	マルタ	417	1,318	27	ツバル	10	378
8	バミューダ島	65	1,225	28	インド	1,224,614	373
9	千葉県	6,216	1,206	29	マルチニーク島	406	368
10	モルディブ	316	1,060	30	ハイチ	9,993	360
11	パチカン	0	1,041	31	ベルギー	10,712	351
12	バングラデシュ	148,692	1,033	32	米領サモア	68	344
13	チャンネル諸島	153	786	33	レユニオン	846	337
14	占領下パレスチナ領	4,039	671	34	イスラエル	7,418	335
15	モーリシャス	1,299	637	35	日本	128,057	343
16	バルバドス	273	636	36	グアム	180	328
17	アールバ	107	597	37	セントルシア	174	323
18	マヨット島	204	546	38	スリランカ	20,860	318
19	サンマリノ	32	517	39	米領バージン諸島	109	314
20	ナウル	10	488	40	フィリピン	93,261	311

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。

ただし、日本、千葉県は国勢調査の結果による。

(注) 海外県・海外領土などの地域を含めて集計している。

(3) 人口増加率

千葉県人口増加率は、チェコ、中国と同程度

千葉県の人口は、平成17年（2005年）から5年間で16万人増加し平成22年（2010年）に621万6千人となった。5年間の人口増加率は2.6%であり、年平均人口増加率は0.52%である。

国際連合の推計によると、2005年～2010年における世界の年平均人口増加率は1.16%であり、千葉県の増加率は世界の半分程度の水準となっている。なお、日本の年平均人口増加率は、0.05%であり、世界の25分の1程度の水準となっている。千葉県と同程度の人口を有する17ヶ国の年平均人口増加率と比較すると、千葉県は14番目の高さだった。ヨーロッパでデンマーク（0.48%）およびフィンランド（0.45%）が、中南米ではエルサルバドル（0.47%）が千葉県と同程度の人口増加率となっている。（表V-3-1）

表V-3-1 千葉県と同程度の人口を有する諸外国の年平均人口増加率

順位	国名	総人口(千人)	年平均人口増加率 (%, 2005-2010)
	世界	6,895,889	1.16
	日本	128,057	0.05
1	シンガポール	5,086	3.52
2	エリトリア	5,254	3.16
3	ヨルダン	6,187	2.94
4	シエラレオネ	5,868	2.60
5	パプアニューギニア	6,858	2.36
6	トゴ	6,028	2.17
7	リビア	6,355	1.93
8	パラグアイ	6,455	1.80
9	ラオス	6,201	1.50
10	ニカラグア	5,788	1.30
11	タジキスタン	6,879	1.28
12	トルクメニスタン	5,042	1.20
13	キルギス	5,334	1.13
14	千葉県	6,216	0.52
15	デンマーク	5,550	0.48
16	エルサルバドル	6,193	0.47
17	フィンランド	5,365	0.45
18	スロバキア	5,462	0.17

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。

ただし、日本、千葉県は国勢調査の結果による。

(注1) 人口500万人以上～700万人未満の国を掲載している。

(注2) 年平均人口増加率 (r) は $r = \ln(2010年の人口/2005年の人口)/5$ により計算した。

世界全体で比較すると、千葉県の人口増加率は世界で119番目となり、日本は139番目となった。千葉県の人口増加率はチェコ（0.53%）や中国（0.51%）と同程度となっている。（表V-3-2）

表V-3-2 年平均人口増加率の高い国・地域

順位	国(地域)	総人口 (千人)	年平均人口増加率 (%,2005-2010)
1	カタール	1,759	15.24
2	アラブ首長国連邦	7,512	12.26
3	バレーン	1,262	11.09
4	リベリア	3,994	4.54
5	クウェート	2,737	3.79
6	ニジェール	15,512	3.54
7	シンガポール	5,086	3.52
8	ウガンダ	33,425	3.24
9	エリトリア	5,254	3.16
10	マリ	15,370	3.08
...
115	イギリス	62,036	0.60
116	フランス	62,787	0.58
117	ベルギー	10,712	0.56
118	チェコ	10,493	0.53
119	千葉県	6,216	0.52
120	中国	1,341,335	0.51
121	北朝鮮	24,346	0.50
122	韓国	48,184	0.48
...
138	ポランド	38,277	0.06
139	日本	126,536	0.05
140	キューバ	11,258	0.01
141	ジンバブエ	12,571	0.00
142	セルビア	9,856	0.00
...
153	リトアニア	3,324	-0.55
154	グルジア	4,352	-0.57
155	ウクライナ	45,448	-0.64
156	ブルガリア	7,494	-0.64
157	モルドバ	3,573	-1.06

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。

ただし、日本、千葉県は国勢調査の結果による。

(注1) 人口100万人以上の国を掲載している。

(注2) 年平均人口増加率 (r) は $r = \ln(2010年の人口/2005年の人口)/5$ により計算した。

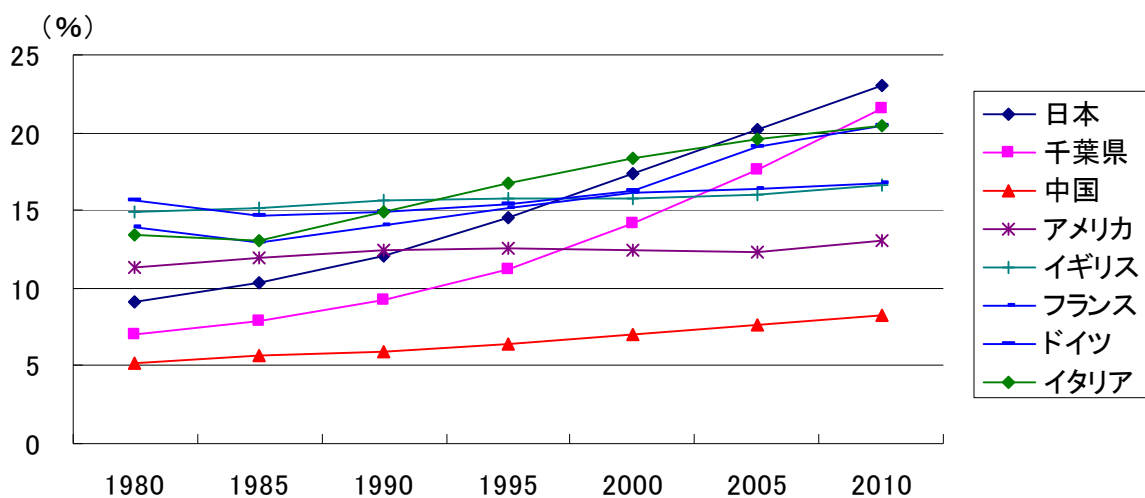
(4) 高齢化率

千葉県の高齢化率は世界最高水準

千葉県の65歳以上高齢者人口は132万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は21.5%だった。千葉県の高齢化率は日本国内では全国で7番目に低い水準であった。しかし諸外国と比較すると、ドイツ・イタリアの20.4%を上回り、世界最高水準となっている。

(図V-4-1) (表V-4-1)

図V-4-1 諸外国における高齢化率の推移（1980年～2010年）



表V-4-1 諸外国における高齢化率の推移（%, 1980年～2010年）

	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
日 本	9.1	10.3	12.1	14.6	17.4	20.2	23.0
千 葉 県	7.0	7.9	9.2	11.3	14.1	17.6	21.5
中 国	5.2	5.7	5.9	6.4	7.0	7.6	8.2
ア メ リ カ	11.3	11.9	12.5	12.6	12.4	12.3	13.1
イ ギ リ ス	14.9	15.1	15.7	15.8	15.8	16.0	16.6
フ ラ ン ス	13.9	12.9	14.0	15.2	16.1	16.4	16.8
ド イ ツ	15.6	14.6	14.9	15.4	16.3	19.1	20.4
イ タ リ ア	13.4	13.1	14.9	16.7	18.3	19.6	20.4

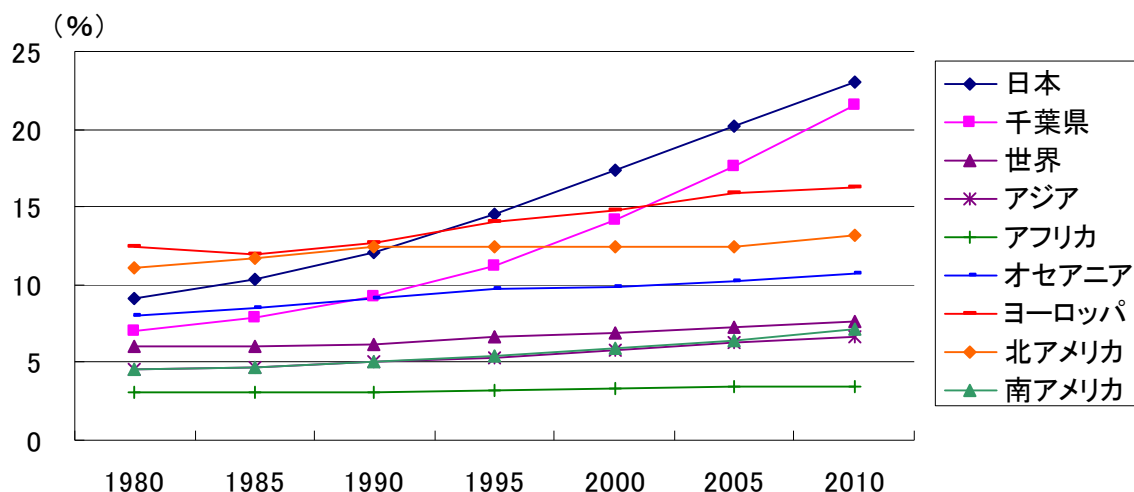
資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。ただし、日本・千葉県は国勢調査の結果による。

千葉県の高齢化率は1980年の7.0%から14.5ポイント拡大しており、高齢化率の上昇幅も大きい。諸外国において高齢化率は上昇傾向にある。しかし高齢化率の上昇幅は千葉県と比べて小さい。1980年と比較してドイツで4.8ポイント、イタリアで7.0ポイントの上昇にとどまっている。

高齢化率を地域別に比較すると、世界の高齢化率は平均で7.6%、アジアの高齢化率は6.7%などとなっている。世界で最も高齢化が進行している地域はヨーロッパ(16.2%)である。これに対して、高齢化率が最も低い地域はアフリカ(3.5%)となっている。

(図V-4-2) (表V-4-2)

図V-4-2 諸地域における高齢化率の推移(1980年~2010年)



表V-4-2 諸地域における高齢化率の推移(%、1980年~2010年)

	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
日本	9.1	10.3	12.1	14.6	17.4	20.2	23.0
千葉県	7.0	7.9	9.2	11.3	14.1	17.6	21.5
世界	6.0	6.0	6.2	6.6	6.9	7.3	7.6
アジア	4.5	4.7	5.0	5.3	5.8	6.3	6.7
アフリカ	3.1	3.1	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5
オセアニア	8.0	8.5	9.1	9.7	9.9	10.2	10.7
ヨーロッパ	12.4	11.9	12.7	14.0	14.8	15.9	16.2
北アメリカ	11.1	11.7	12.4	12.5	12.4	12.4	13.2
南アメリカ	4.5	4.7	5.0	5.4	5.9	6.4	7.1

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。

ただし、日本・千葉県は国勢調査の結果による。

(5) 合計特殊出生率【参考】

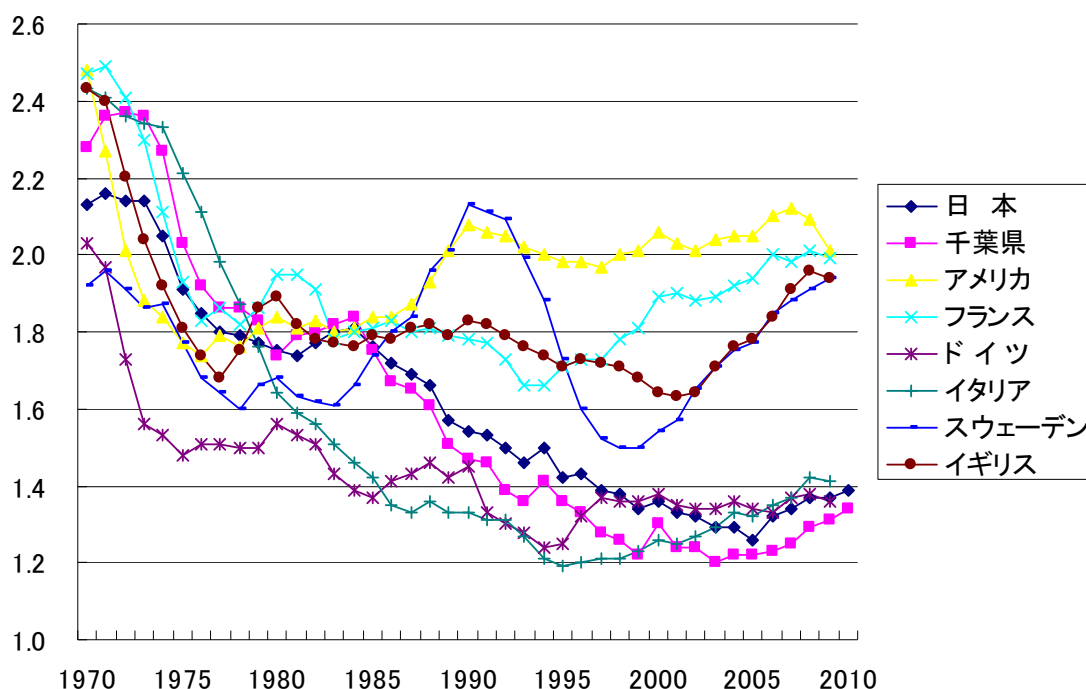
千葉県合計特殊出生率はドイツ・イタリアと似たパターンで推移

厚生労働省「人口動態統計」によると、千葉県の平成22年の合計特殊出生率は1.34であった。全国の合計特殊出生率は1.39である。

千葉県の合計特殊出生率の推移を欧米諸国と比較すると、1970年当時は多くの国が2.0以上を維持していた。その後、1970年代には各国で出生率の低下が起こり、出生率が2.0を下回る国が続出した。千葉県の場合も1970年代に出生率が2.0を下回っている。(図V-5-1)

その後の推移については、2つのグループに分かれている。アメリカやフランスのように出生率が回復基調に転じる国、ドイツやイタリアのように出生率が1.2~1.4程度の低い水準で推移している国である。千葉県は、ドイツやイタリアとよく似た推移を示している。

図V-5-1 欧米諸国の合計特殊出生率の推移(1970年~2010年)

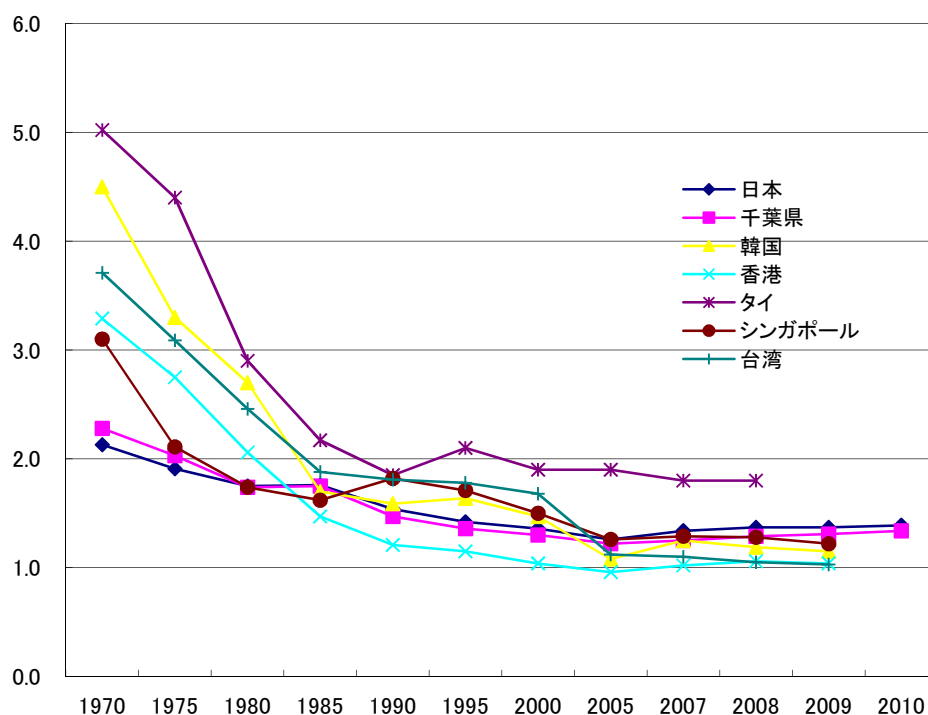


資料：内閣府「子ども・子育て白書（平成23年）」、厚生労働省「人口動態統計」

(注) 2010年の日本・千葉県は確定数。

千葉県の合計特殊出生率の推移をアジアの国・地域と比較すると、アジアでは出生率の長期的な低下が続いていることがわかる。1970年には日本・千葉県よりも高い出生率を記録していたが、その後、各国で出生率が急速に下落している。タイ（1.80）以外の韓国（1.15）、香港（1.04）、台湾（1.03）、シンガポール（1.22）が軒並み日本・千葉県の水準を下回っている。（図V-5-2）（表V-5-1）

図V-5-2 アジアの合計特殊出生率の推移（1970年～2010年）



表V-5-1 アジアにおける合計特殊出生率の推移（％，1970年～2010年）

	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2007	2008	2009	2010
日 本	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.34	1.37	1.37	1.39
千 葉 県	2.28	2.03	1.74	1.75	1.47	1.36	1.30	1.22	1.25	1.29	1.31	1.34
韓 国	4.50	3.30	2.70	1.70	1.59	1.64	1.47	1.08	1.25	1.19	1.15	
香 港	3.29	2.75	2.06	1.47	1.21	1.15	1.04	0.96	1.02	1.06	1.04	
タ イ	5.02	4.40	2.90	2.17	1.85	2.10	1.90	1.90	1.80	1.80		
シンガポール	3.10	2.11	1.74	1.62	1.82	1.71	1.50	1.26	1.29	1.28	1.22	
台 湾	3.71	3.09	2.46	1.88	1.81	1.78	1.68	1.12	1.10	1.05	1.03	

資料：内閣府「子ども・子育て白書（平成23年）」、厚生労働省「人口動態統計」

（注）2010年の日本・千葉県は確定数。台湾の1970年は1971年

1975年は1976年、1980年は1981年の数値。